【別紙様式１】

別府市立緑丘小学校　学力向上プラン１（４月）

学校教育目標	知識を活かして互いに学び、自ら未来に挑戦する緑っ子の育成
育成を目指す資質・能力	自立性と自己表現力

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	**各種学力調査の分析結果から明らかになった課題** ○県学力調査正答率では、国語・算数・理科の全項目で国・県平均を超えた。 ○全国学力調査正答率では、国語・算数の全項目で国・県平均を超えた。 ○市学力調査正答率では、全国平均正答率を3年算数及び4～6年全教科で超えたが、3年国語・理科で下回った。	**各種学力調査の分析結果から明らかになった課題** ○5年質問紙で「テレビ・ゲームの関わり1時間以内。」の肯定率が48.0％で国や県より約10ポイント高い。 ○同質問紙で「1か月の読書量20冊以上。」の肯定率が10％で国より2.3ポイント低い。 ○考えを伝え合うような場面で、ICT機器の効果的な活用が求められる。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ○2学期末チェックテスト（知・技）の目標得点達成児童の割合が70％超の教科数は32教科中23（達成度：85.2％）。 ○同（思・判・表）の目標得点達成児童の割合が60％超の教科数は32教科中30（達成度115.4％）。 ○特に前者は、達成児童の割合が60％を下回るクラスもあり、今後、補充指導や授業改善の方法等について、再検討していく必要がある。	
指導の状況	**1 組織的な授業改善の取組状況** ○算数での「児童の言葉によるまとめ記述」を実施時数の60％以上実践することを設定した。セルフチェックによる達成率は94％である。しかし、児童の言葉によるまとめ記述のさせ方には教員によって差も見られるため、校内研修等を通して、発達段階に応じた効果的な方法を模索している。 **2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況** ○1学期は月に1回以上の放課後学習教室を4年生で実施してきたが、2学期からは学校運営協議会の協力により、3年生でも実施することになった。 ○毎週水・金曜日の「みどりタイム」で補充学習を実施している。取組内容は、学年の弱点や課題に応じて決めている。	

学力に関する達成指標

○学期末チェックテスト（知・技）の目標得点達成児童の割合が70％を超えた教科数を22以上にする。
○学期末チェックテスト（思・判・表）の目標得点達成児童の割合が60％を超えた教科数を22以上にする。
○学力調査(国・県・市：思・判・表)の全教科正答率を全国(県・市)平均以上にする。

今後の具体的な取組

【授業改善】

〈授業改善のテーマ・重点〉
自分の考えをもち、主体的に表現する力の育成

〈取組内容〉
国語、算数、理科において意見を交流し、
共感的人間関係を育む授業の実践

〈取組指標〉
○学級担任は、国語、算数、理科において「意見を交流し、共感的人間関係を育む時間を設定した授業」を実施時数の60％以上実践する。
○学級担任は、「意見を交流し、共感的人間関係を育む時間を設定した授業づくり」について校内研修（学期に2回以上）で支援方法を検討する。

〈検証指標〉
○国語、算数、理科の学期末チェックテストにおいて、（知・技）では目標得点達成児童の割合を70％以上に、（思・判・表）では目標得点達成児童の割合を60％以上にする。

【家庭・地域との協働】

〈家庭・地域の取組内容〉
○学校の授業を参観する。
○学習支援をする。

〈家庭・地域の取組指標〉
○保護者は、家庭学習の手引きを使って子どもと一緒に目標をたて、学期ごとに振り返りをする。
○3・4年生を対象に月１回以上放課後学習教室を実施する。

〈家庭・地域の検証指標〉

【授業改善以外の学力向上の取組】

○「生徒指導の3機能を生かした授業」の実践を毎月セルフチェックし、実践に向けての意識化を図る。
○校内研修で「意見を交流し、共感的人間関係を育む時間を設定した授業」の実践方法について協議し、改善を図る。
○学級担任は、20分以上の補充指導を週１日以上実施する。
○チェックテスト（学期始・末）を実施し、子どもの弱点と学習内容の定着度を把握し、指導に活かす。